

わたくしたちの健康

はいがん 肺癌治療薬 (オプジーボ)

朝霞地区医師会 いしがわりなこ 石川里奈子

☎464-4666

あなたは肺癌に対してどんなイメージをお持ちですか？ノーベル医学生理学賞を受賞された京都大学の本庶佑先生のインタビューやニュースから、命を脅かす病気である癌に対して、ゴルフができるほど元気に過ごせる効果の高い薬が出てきたのだな、すごいな、と感じられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

本庶先生が研究され、治療薬となった『免疫チェックポイント阻害剤』は悪性黒色腫、肺癌、頭頸部癌などで効果を認め、約三年前から保険診療にて使用できる治療薬として登場しました。効果はそれぞれの癌の種類で異なるので今回は肺癌に注目してお話します。肺癌というと一種類の病気のように想像されるかもしれませんが、実際には肺という肺胞や気管支や血管、リンパ管などの構造物で構成されている大きな臓器のどこかを母体に、異常に増殖し続ける細胞の集団のことを肺癌といっているので、様々な種類があります。

肺癌の種類と、全身への広がり方により治療法を検討します。局所的な肺癌であれば、手術や放射線治療を検討し、どちらも難しい場合には、全身への治療を考えます。これまで長く治療経験がある

薬として、癌細胞自体の増殖を止めるために、細胞の分裂を抑える細胞障害性抗がん剤があります。癌細胞の勢いを止めることができず、他の正常な細胞にもダメージが出てしまうため、吐き気やだるさ、食欲の低下や免疫をつかさどる白血球数の低下などが起きる副作用があります。また、しばらく投与する間に、抗がん剤に耐えうる癌細胞の増殖により治療効果が得られなくなる時期が来てしまうことが問題点としてありました。抗がん剤にも複数の種類がありますが、他の抗がん剤へ変更しても効果が得られないこともあり、その理由が模索されています。

本来、体にとって異常に増殖しつづける癌細胞は異物であるため、免疫機能により、排除されるはずであるのに、免疫から逃れる能力を身につけていることが発見されました。もともと正常な免疫細胞には、免疫が過剰に働いて正常な細胞も攻撃されることを防ぐためのブレーキとなる制御システムが備わっています。これを『免疫チェックポイント機構』といいます。癌細胞がこのシステムを悪用し、PD-1という物質をつくり出し、免疫細胞の中のT細胞に

発見している物質 (PD-1) と結合して、「働きよ、止まれ！」という信号を送ることで、T細胞の攻撃から逃れていることを発見された方が本庶先生です。

この発見をもとに、PD-1とPD-L1が結合しないようにすることで、自分の免疫に、癌細胞を攻撃する働きを取り戻す治療薬が開発され、『免疫チェックポイント阻害剤オプジーボ』が登場しました。オプジーボは、この免疫機能のために、これまでの抗がん剤では治療効果が得られなかった肺癌患者さんに、劇的な治療効果をもたらし、肺癌の進行を止めることで生活の質を高めてくれていきます。しかし、肺癌細胞もなんとか生き残ろうと、オプジーボや抗がん剤に耐えしのぶため、すべての患者さんに、長く治療効果を維持できるところまで至っていませんが、本庶先生の発見は、病気の原因の核心に迫り、現在根治が難しい病気とも、長く付き合っていくような未来を切り開いてくださっていました。よりよい治療戦略の探索や研究が多数進められ、肺癌の治療は日進月歩に進化する時代となっています。

わたくしたちの健康

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)	
3	朝霞	鈴木内科	内・小	473-6611	新座	須田整形外科	整外・リウ・リハ・内	478-2688	
		石原クリニック	消内(胃内)・内	486-1890	朝霞	はまなか皮フ科クリニック	皮・アレ	476-1223	
2	11	新座	片山診療所	小・皮・内・アレ	481-0260	和光	和光駅前皮フ科	皮・アレ・美容皮膚科	450-1102
17	志木	かまた内科クリニック	内・消内・糖内	472-7070	新座	新座西山内科眼科クリニック	循内・内・眼・小	202-1112	
24	和光	恵クリニック	内・消内・皮	464-9893	志木	田島耳鼻咽喉科医院	耳	475-3308	



※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。